

応募要項

都市・まちづくりコンクール実行委員会
株式会社 総合資格 事務局

■主旨

都市・まちづくりについては、社会構造の変化、少子高齢化、大災害対策などにより、常に改変を求められるものがあります。また、その目的も成果も多種多様であり、単にそこに存在する人々の「活性化」や「賑わい」だけが求められるものではなく、環境改善への貢献、歴史的意義やサステナブル都市としての要求等も常に求められる非常に有機的で難解な研究領域であります。こうした領域に取り組む学生の育成を図る目的で、自ら問題意識を見出した課題において、グループで取り組み、共に創り上げた力ある作品を募集し、学生達が生み出した景観や創造価値と作品に込められた熱意を評価し、また、他学との交流を通じて、さらに視野を広げてもらうことを期待します。加えて、一般の方にも公開し、都市・まちづくりに対する理解、関心を深めます。

■課題

「働」

皆働、協働、実働、就働、労働、自働、稼働、働き働く。人間は元々役割分担をしっかりと生きてきました。農耕、狩り、政治、など一人一人役割を持って、人類が生き続けるために力を尽くす。これが人間として基本の生き方であるため、「社会の中で役割を持つ＝働く」ということになります。現代は仕事が複雑になり役割が曖昧になっていますが、結果的にはどれもより社会の発展、人類の発展のために役割を持って力を尽くしているのです。都市計画における「〇働」「働き」をどのような観点から思考するのか期待します。また、計画の範囲の規模については、これも自らの判断に問いますが、原則、建築物および周辺の空間計画（環境的要素を取り入れた）を含めたものとします。

■応募者・応募資格

応募者および応募の資格は次の通りとする。

1. 応募対象はグループによる作品とし、個人作品の応募は不可とする。また、グループの人数は問わないが、1名の代表者を選定することとする。（重複参加不可）
2. 応募者は後記の参加要請大学の学生とし、卒業制作等と兼ねても構わない。
3. 応募作品は、指定の期日までに、所定の受付票、または、Web申込フォームにて応募されたものに限る。
4. 代表者は、原則として審査・講評、および表彰・懇親会に出席できる者とする。また、遠隔地等、出席が困難な者については事前に事務局の了承を得ることとする。
5. その他、次に示す内容に抵触した場合は、応募、出品を取り消す場合がある。
 - ①募集要項や、課題から逸脱した作品・仕様である場合
 - ②受付票に記した内容が著しく不十分な場合、または、作品との間に重大な相違がある場合
 - ③要求される作品の仕様に欠落、または、重大な相違がある場合
 - ④他作品や既作品の既権利を、類似等によって侵害する恐れがある場合
 - ⑤作品の内容が、他者を誹謗中傷する内容を含む場合
 - ⑥登録手数料が所定の期日までに支払われない場合
 - ⑦その他、実行委員会、事務局が応募に不適切であると判断する場合

■応募方法

次に示す期日までに、所定の受付票、または、コンクールWeb申込フォーム (<http://www.toshi-machi.jp>) 上にて応募すること。尚、応募作品が規定数を越えた場合は、事前審査により、出展を選抜するものとする。

応募締切：平成28年2月29日(月) 17:00 (厳守)

■応募作品について

応募作品の仕様等については次の通りとする。また、データの送信アドレスは以下の通りである。

◎データ送信先：info@toshi-machi.jp

1. 本課題において、「選定エリアと選定理由」「計画の要旨」についてA4サイズにまとめたもの各1枚
＜データ提出期限…平成28年3月10日(木)17時＞

- ①白地のA4版とし、横書き2段組を原則とする。また、余白については、上下20mm以上、左右15mm以上を確保すること。
- ②行数、文字数については、所定のテンプレートを利用するか、50行（1行25字程度）程度に収めること。
- ③文章は黒字とし、必要に応じて、図表等を挿入してもよい。（図表はカラー可、挿入する図表は別途解像度250dpi程度のjpeg形式にしたものも添付すること）
- ④ファイル形式は原則PDFファイル、またはaiファイル（versionはCS2以前で作成のこと）にて作成すること。
- ⑤フォントについては、下記の通りとするが、どうしても他フォントを使用したい場合は、アウトライン化すること。その場合、別途テキストデータを添付のこと。
※日本語フォント
MS明朝またはMSゴシック
※英字フォント
Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times New Roman
- ⑥上記事項を遵守した上で、メール添付にて、データを送信すること。
- ⑦受信したデータについては、原則そのまま製本化し、配布するので、正しく出力されるか事前に確認の上、送信すること。

2. 本課題において、対象の計画方針、提案内容を可視化できるように表現したプレゼンボード（A1サイズのパネル1枚を縦長にて作成、レイアウト自由）
＜提出期限…審査当日まで＞

- ①内容、書体等、自由とする。
- ②当日、掲示が出来る状態に作製しておくこと。

3. 別途、上記2のプレゼンボードの内容をPDF化したもの (A3サイズに縮小したもの各1枚)

＜データ提出期限…平成28年3月10日(木)17時＞

- ①ファイルサイズは圧縮後それぞれ10MB程度とする。
- ②フォントについては、アウトライン化し、画像等は解像度を250dpi程度で作成すること。また、正しく出力されるか確認してから送信すること。

※データ入稿後は、不着等のトラブルが無いよう、必ず事務局まで連絡を入れること。

※データ入稿後、審査当日掲示のためのプレゼンボードの加筆・修正、作品の質的向上のための手直しは構わない。但し、「選定エリアと選定理由」「計画の要旨」については、提出後の変更は不可とする。

※応募作品が規定数を越えた場合の事前審査においては、提出されたデータをもとに行う。

■審査方法について

審査については、次の通りとする。

1. 応募作品が規定数を越えた場合は、実行委員会にて、事前審査を行い、出展の選抜を行う。(規定50作品)
2. 1次審査については、審査員が「選定エリアと選定理由」、「計画の要旨」および、当日掲示されるプレゼンボードとあわせて審査し、上位5作品程度を選ぶ。尚、1次審査において投票を行う大学の担当教員は自身の担当学生による作品へは投票出来ない。
3. 最終審査は各自10分のプレゼンテーションおよび10分程度の質疑応答を行い、特別審査員による最終審査にて、最優秀、優秀2作品の計3作品を選出する。

■表彰について

表彰・賞金については、次の通りとする。

- 最優秀賞 1作品…賞状、記念品、及び賞金20万円
優 秀 賞 2作品…賞状、記念品、及び賞金10万円
審査員賞 4作品程度…賞状、及び賞金3万円
奨 励 賞 全作品…記念品

■コンクール会場

総合資格学院梅田校 大阪府大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル8階
(JR大阪駅御堂筋出口より徒歩8分地下鉄東梅田駅より徒歩4分)

■日程

応募締切	平成28年2月29日(月)17時
データ提出締切	平成28年3月10日(木)17時
作品搬入	平成28年3月19日(土)9時半
審査・表彰	平成28年3月19日(土)13時～18時
懇親会	平成28年3月19日(土)18時～19時半
撤収	平成28年3月19日(土)～21時

■応募作品の権利について

応募作品の権利については、次の通りとする。

1. 応募内容・作品に関する知的財産権は必要に応じて、応募者自身で権利保護等の手続きをすること。
2. 応募作品ならびにその内容の公表・展示に関する権利は事務局が優先保持するものとする。また、卒業制作等、自学内における同権利については、事務局はその可否を問わない。

■作品の搬入・撤収について

展示当日の作品の搬入・撤収が困難な場合は、事務局まで事前に申し出ること。また、搬入・撤収を事務局が代行する場合は、送料等の実費を請求する。

■参加要請大学 (地域、50音順)

- 札幌市立大学
- 北海道大学
- 北海道工業大学
- 室蘭工業大学
- 秋田県立大学
- 東北大学
- 東北芸術工科大学
- 東北工業大学
- 八戸工業大学
- 宮城大学
- 足利工業大学
- 神奈川大学
- 関東学院大学
- 慶應義塾大学
- 工学院大学
- 国土館大学
- 埼玉大学
- 芝浦工業大学
- 首都大学東京
- 昭和女子大学
- 多摩美術大学
- 千葉大学
- 千葉工業大学
- 筑波大学
- 東海大学
- 東京大学
- 東京芸術大学
- 東京工業大学
- 東京電機大学
- 東京都立大学
- 東京農業大学
- 東京理科大学
- 東洋大学
- 日本大学
- 日本工業大学
- 日本女子大学
- 法政大学
- 前橋工科大学
- 武蔵野美術大学
- 明治大学
- ものづくり大学
- 横浜国立大学
- 早稲田大学
- 愛知工業大学
- 愛知産業大学
- 岐阜女子大学
- 静岡文化芸術大学
- 中部大学
- 豊橋技術科学大学
- 名古屋大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋市立大学
- 三重大学
- 名城大学
- 金沢大学
- 金沢工業大学
- 信州大学
- 長岡技術科学大学
- 長岡造形大学
- 新潟大学
- 新潟工科大学
- 福井大学
- 福井工業大学
- 大阪大学
- 大阪工業大学
- 大阪産業大学
- 大阪市立大学
- 大阪人間科学大学
- 関西大学
- 関西学院大学
- 京都大学
- 京都工芸繊維大学
- 京都府立大学
- 近畿大学
- 神戸大学
- 神戸芸術工科大学
- 滋賀県立大学
- 摂南大学
- 奈良女子大学
- 武庫川女子大学
- 立命館大学
- 和歌山大学
- 岡山理科大学
- 鳥取環境大学
- 広島大学
- 広島工業大学
- 山口大学
- 高知工科大学
- 大分大学
- 鹿児島大学
- 北九州市立大学
- 九州大学
- 九州工業大学
- 九州産業大学
- 熊本大学
- 熊本県立大学
- 久留米工業大学
- 佐賀大学
- 崇城大学
- 長崎総合科学大学
- 西日本工業大学
- 日本文理大学
- 福岡大学
- 琉球大学

※他に都市計画系研究を主体とする四年生大学の学生、またはそれに準ずる専門学校等の学生も可とするが、事前に事務局まで承諾を得ること。

■都市・まちづくり実行委員会 (敬称略) (予定)

委員長

中野 恒明 (芝浦工業大学教授・㈱アブル総合計画事務所主宰)

特別審査員長

小林 英嗣 (北海道大学名誉教授・日本都市計画家協会会長)

実行委員

有賀 隆 (早稲田大学教授) 山本 俊哉 (明治大学教授) 前田 英寿 (芝浦工業大学教授) 遠藤 新 (工学院大学准教授) 川島 和彦 (日本大学准教授) 仲代 武久 (㈱総合資格)

■特別審査員 (敬称略)

- 小林 英嗣 北海道大学名誉教授・日本都市計画家協会会長
- 中野 恒明 芝浦工業大学教授・㈱アブル総合計画事務所主宰
- 江川 直樹 関西大学教授
- 角野 幸博 関西学院大学教授

■後援 (前年度実績、未定)

- 日本都市計画家協会・日本都市計画学会・GSデザイン会議
- JUDI都市環境デザイン会議・山下設計・三菱地所設計・日本設計・大林組・竹中工務店

■協賛 (前年度実績、未定)

- 日刊建設工業新聞社・日刊建設通信新聞社・建通新聞社・株式会社エクスマレッジ